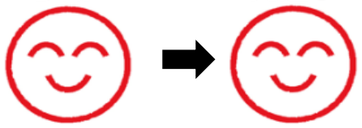
建設業

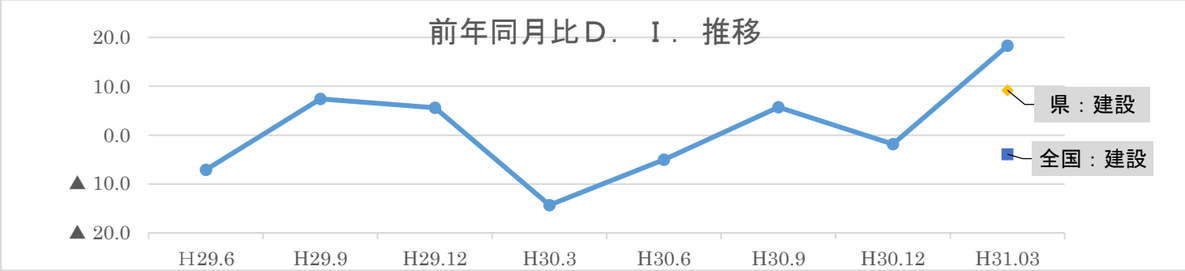
回答率:92.3%(60/65)

今期 → 見通し

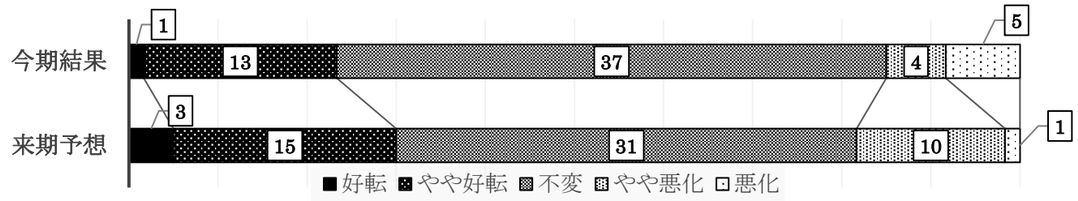


■丹波市の景況推移

工事受注件数は全体として伸びているが、特に高齢化が進む丹波市などの地方では、それに対応する労働力の確保が求められている。



■丹波市の景気動向



【今期の景況】

住宅着工件数、特にリフォーム件数はここ数年増加しており、住宅建築・板金関連の業種においては順調に推移した。また、公共事業についても比較的堅調に推移している。

【来期の景況予想】

消費税増税による駆け込み需要の影響から、安定した受注はあると予想している回答が多かった。しかし、増税後の費用負担増や、人材不足から十分な収益を確保することが出来ないと懸念する声もある。また、働き方改革により、従業員に休みを取らさなければいけないのは厳しいと回答する事業所が目立った。

■全国の景気動向

全体的な景気としては、前期よりも良くなっている。要因としては、民間工事や個人住宅、また、年度末の公共工事やホテル建設などが増加している。ただ、職人不足や人件費高騰により思うような利益を上げられていない状況もある。

■県下の景気動向

兵庫県の新設住宅着工戸数は平成 31 年 1 月から 2 ヶ月連続で増加している。また、公共工事に関しても、平成 31 年 2 月まで 4 ヶ月連続で伸びており、全体的に見ても増加している。

■地区ごとの回答(前年同期比)

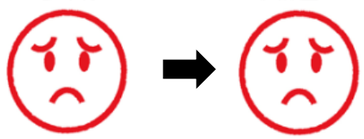
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い（増加＋やや増加）	1	5	3	5	7	0	21	35.0%
不変	2	14	2	4	1	6	29	48.3%
悪い（悪化＋やや悪化）	1	2	2	3	1	1	10	16.7%
合計	4	21	7	12	9	7	60	100.0%

製造業

回答率:98.1%(52/53)

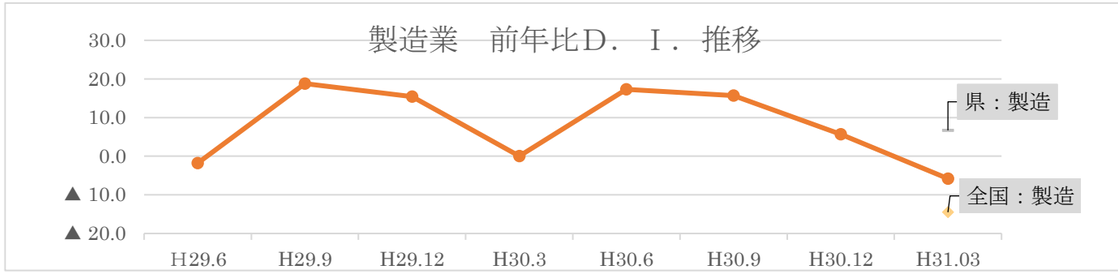
平成３１年１月～３月期調査

今期 → 見通し



■丹波市の景況推移

生産性を高めるため、設備投資等を検討する事業所が出てきているものの、製造コストが高騰し、十分な利益の確保が難しくなっていることが課題である。



■丹波市の景気動向

【今期の景況】

製品の輸送費が高騰し、製造コストが大幅に増加している他、技術者の高齢化が進み、外注費等の費用が増加し、利益の減少に繋がっている。またそれに関連して、十分な設備投資資金を確保できないという問題も起こっている。

【来期の景況予想】

輸送コスト及び、人手不足感は依然として続くと考えられ、今後の対応が苦慮される。また、補助金を活用した設備投資や AI の活用、外国人労働者の雇用に踏み切り、打開策を講じる企業も今後増えていくと考えられる。

■全国の景気動向

GW10 連休前の駆け込み需要により、受注が増大したものの、輸入資材や輸送コストの高騰により利益を圧迫する状況が続いている。自動車業界においては、中国の需要低下や、ヨーロッパの経済不安などが重なり、受注が減少している。

■県下の景気動向

生産活動は一部に弱めの動きが見られるものの、昨年と比べ緩やかに回復している。輸出は増加基調にあり船舶等の輸出は伸び、タバコや衣料品等は若干減少している。また、鉱工業関係はほぼ横ばいであり、全体的に見てもほぼ横ばいとなっている。

■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い（増加＋やや増加）	2	6	1	1	4	1	15	28.8%
不変	2	5	2	5	4	1	19	36.5%
悪い（悪化＋やや悪化）	2	1	4	1	6	4	18	34.6%
合計	6	12	7	7	14	6	52	100.0%

小売、卸売業

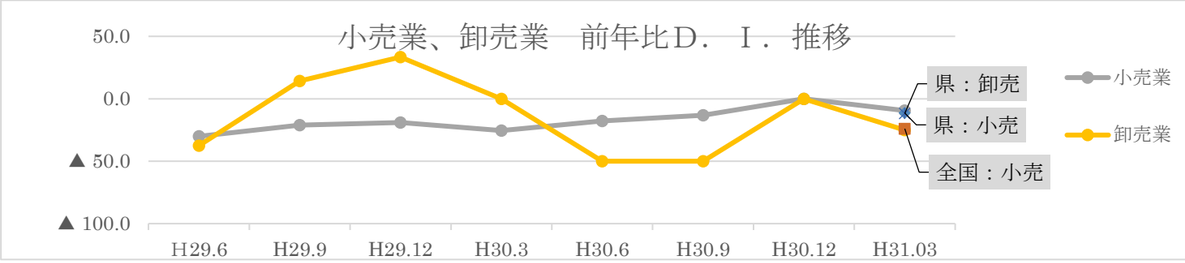
回答率:93.4%(71/76)

良い　やや良い　普通　少し悪い　やや悪い　悪い

今期 → 見通し

■丹波市の景況推移

大手量販店の進出などによる購買意欲の低下の影響が売上・収益に出ているため、キャッシュレス決済のポイント還元サービスの拡充などにより、来店を促す取り組みが必要となる。



■丹波市の景気動向

【今期の景況】

全体的な景況としては右肩下がりの状況が続いている。市内消費者の動向としては、高価な買物を躊躇する傾向が続いている。理由としては、大手量販店の進出で、安くて良いものが手に入るという考えが全体に根付いているほか、家族でも来店しやすいなどが挙げられる。

【来期の景況予想】

GW10 連休での需要の増加が見込めるほか、キャッシュレス決済の普及による顧客へのポイント還元などのサービスの拡充により、小売店を中心に販売機会の増加が見込まれる。

■全国の景気動向

東京五輪の影響によりホテル物件の建設やインバウンドの増加により、防犯カメラなどのセキュリティ系の受注が増加している。しかし、受注に対し人手が足りず断らざるを得ない状況が続いており、思うような利益を上げられていない。

■県下の景気動向

スーパーや百貨店の販売額は 2 年数ヶ月間で前年同月を下回り続けているが、コンビニストアに関しては、直近 4 ヶ月連続で前年同月を上回っている。自動車販売に関しては前年同月を下回った。

■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い（増加＋やや増加）	2	9	0	3	1	1	16	22.5%
不変	8	12	1	4	4	2	31	43.7%
悪い（悪化＋やや悪化）	4	7	1	3	6	3	24	33.8%
合計	14	28	2	10	11	6	71	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

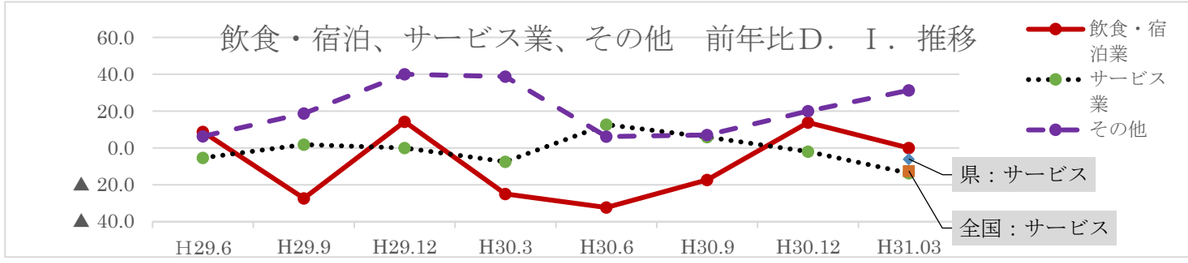
回答率:90.5%(96/106)

平成３１年１月～３月期調査

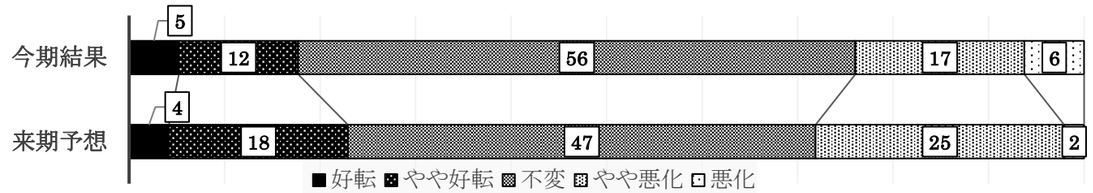
今期 → 見通し

■丹波市の景況推移

天候不順による影響により飲食業を中心に伸び悩むお店も目立ったが、今後は 10 連休、大河ドラマ、キャッシュレス決済によるポイント還元などプラス要因が多く、来期の景況に期待が持てる。



■丹波市の景気動向



【今期の景況】

暖冬の影響により来丹者数は増加したが、昨夏の天候不順の影響により栗・あずき・黒豆など丹波の特産品が軒並み高騰した為、利益の確保には繋がらず、横ばいの状況が続いた。

【来期の景況予想】

GW10 連休の顧客増加を見込んでいる回答や、NHK 大河ドラマの「麒麟がくる」の影響が早くも出始めている回答もあり、観光客の増加が見込まれると予想される。また、7 月から医療センターが開院するため、人の流れも変わってくるのではといった期待感を持つ回答も目立った。

■全国の景気動向

GW10 連休や 2020 東京五輪関係の期待感からの需要増加が見込まれるが、人手不足や人件費の高騰また、採用に関わる経費増加を解消できておらず、全体としては利益の減少になっている。

■県下の景気動向

介護関連事業において、人手不足による機会損失、また、飲食業においても、生鮮食品の価格高騰により利益の圧迫が続いている。一方で、ホテル事業等は外国人観光客による好影響が見られるなど、明暗が分かれた。

■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い（増加＋やや増加）	4	6	5	1	5	2	23	24.0%
不変	10	14	2	7	6	9	48	50.0%
悪い（悪化＋やや悪化）	5	10	2	2	3	3	25	26.0%
合計	19	30	9	10	14	14	96	100.0%